

Culib News (クリブニュース)

No.58 2008年10月10日 中京大学図書館発行

ことばの散歩—21—

ROBOT

図書館長 安村 仁志

88年前の1920年にチェコの作家カレル・チャペック (Karel Čapek 1890-1938) が“R.U.R.”という戯曲を書きました。R.U.R.とは、Rossumovi Univerzální Roboti/Rossum's Universal Robotsの略号で、「ロッセム(社)のユニヴァーサル・ロボット」を表しています。ここに、初めて「ロボット」(robot)という語が登場いたしました。88年前に登場したことに、どんな思いをもたれるのでしょうか。「そんな昔から？」でしょうか、それとも「そんな最近のこと？」でしょうか。

一説によると、紀元1世紀頃(不詳)にアレクサンドリアで活躍したヘロンという人は神殿の祭壇の前で炊かれる火が燃え盛ってくると神殿の扉が自動的に開き、消えていくと閉まるという装置、貨幣を入れると水が出る装置などを考案していたそうです。「人の手によらず、自動的に」ということはそれほど古い起源を持っています。日本でも、クジラのひげのぜんまいで動く「からくり(絡繰、機械、機関、機巧)人形」が各地で発達しました。こちらの方は、遊びの要素も感じられますが、人間は古来、自分に代わって仕事をしてくれるものを求めてきました。

その意味で、robotという語には興味深いものが込められています。チャペックはほとんど人間と見分けがつかない人造人間をめぐる作品を構想した時、兄のヨゼフにそれを話したところ、兄がrobotという名を与えたと言われます。どのように発想したのでしょうか。結果的には単純なことですが、着眼点には鋭いものがあります。チェコ語のrobotaという単語からaをとって造ったのですが、robotaという語は、「強制された労働」、「単調な骨折り仕事」という意味を持っています。さらにこの語は動詞robotiti(働く、[単調に]あくせく働く)に由来します。そして、それは古代教会スラブ語のrabota(奴隷の状態[身分]、苦役)に遡ります。興味深いことに、ドイツ語のArbeitもこれに関係があるとされています(古高ドイツ語 arabeit)。

人間は自分のつらい労働を避けて、誰か他人にそれをさせようとの思いをもってきました。戦いで捕虜にした人間を使ったり、奴隷という身分を作り出すほか、農民に賦役を課して彼らに仕事を強制してきました。つらい仕事をさせられる側にとっては、それは「苦役」です。人間が同じ人間にそうした苦役を強いることは、強いられる側にとってはもちろん、強い側にとっても本来“悲しい”ことです。後者の場合、自分中心に考えることで、楽になるという旨みのため、ある人たちを苦しめ、自分は楽をしているという後ろめたさは少しずつ麻痺していくのですが、人間としてのあり方からいえば、それはやはり“悲しい”ことです。

人間以外のものにつらい仕事の補助をさせるということでは、動物を使うことが発想され、比較のおとなしく、力のある動物が使われるようになりました。また、水や風など自然の力を借りるということにも知恵を絞ってきました。しかし、ここにも人間が自分たちの幸せだけを考えると、秩序が失われて動物虐待や自然破壊という、悲しい現実が生まれました。

そこで考えられるのが、人間でも動物でもない、人間の代わりを十分に果たす無機物の機械でした。水力・風力などのほかに動力を手に入れた人間は、機械をどんどん発達させました。電気を使った洗濯機は、冷たく、つらい仕事から女性を解放するものとして画期的なものでした。この種の便利な機械類、危険な作業を人間に代わってする機械類も次々に開発され、今日私たちはその恩恵に浴しています。これらの広い意味でのロボットには深い意味が凝縮しています。

こうして造り出された語ですから、robot はほとんどすべての言語に取り入れられました。robot (робот) をそのまま受け入れている言語は、英、蘭、仏、西、伊、露；瑞典、丁抹、烏克蘭、勃牙利、羅馬尼亞、土耳其などの言語です。少し変形した形となっているのは、独 Roboter、芬蘭 robotti、愛蘭 robot、葡萄牙 robô、洪牙利 robotgép です。烏克蘭語、勃牙利語には автомат という言い方もありますが（漢字の国名を当ててみてください）、英語の automata (automaton の複数形)に通じます。これは「自動装置」に当たり、ギリシア語の「自分で動く」の意の αυτοματων (アウトマトン) / αυτοματος (アウトマトス=自動的の、automatic にも通ず) に由来します。

自分で動き、人間に代わってつらい仕事をする／させられる物／者が「ロボット」ということになる、機械的なものに対し、有機的な人造人間も構想され、android という語が生まれました。これは、化学的、生物学的に合成され、血と肉をもち、人間の姿かたちをした人造人間を指し、古くは錬金術師によって造られる人工生命体ホムクルス、フランケンシュタイン（正確には、シェリー夫人の1818年の小説でフランケンシュタインが造った無名の創造物）があり、チャペックのロボットもこれに属します（外見上はことばを操ることを含めて人間とまったく変わらず、異なるのは感情を持たないことのみ。物語は“人権”擁護家の求めで一部感情をもつことになったロボットが反乱を起こすというもの）。日本でも、鎌倉時代の説話集『撰集抄』の巻五「高野山参詣事付骨にて人を造る事」というものがあるそうですし、1928年に開かれた京都博覧会で大阪毎日新聞が出品した西村真琴作のロボット學天則があります。android という語は、人間を表すギリシア語の ανήρ (anēr) を元にする ανδρός (andros) に接尾辞 -ειδες (eides …の種の) がついてできた語からラテン語 androides を経て生まれました。これは男性で、女性の方は gynoid といいます。

さて、労働人口減少が生じるわれわれの社会においては、それを補うものの一つとして、これまで以上に無機質系の機械 automata/automation が導入されるとともに、android 系のロボットの開発が進むことが予想されます。心理療法を行うロボット・セラピー（ネコ型コミュニケーションロボット《ネコロ》など）、《アイボ (AIBO)》に代表されるエンターテイメント・ロボットという家族の一員ともなる、希薄化した人間関係克服を目的にするもの、災害時の救助用ロボット、実験用ロボット、介助ロボットなどです。しかし、ロボットには未だ《心》がありません。「ロボット」という語の意味に、「自分の意志でなく、他人に操られて動く人間」という意味があるとおりです。チャペックのロボットは感情を得たことから、命令されるままに働いてきたことをやめ、製作者である会社の人間を滅ぼします。しかし、設計処方を書いたものが燃やされていて、唯一彼らに同情的であった人間に再現を迫りますが、果たせないまま悲しい結末を迎えます。感情を持たないからといって、戦争にロボットを使うとなれば恐ろしいことです。人が人をロボットとしたり、人が人のロボットとなったりしないよう、心したいものです。

猫型ロボットの《ドラえもん》と《のび太くん》の関係はほのぼのとしていて、いいですね。

児童文学の旅(9)

—新美南吉「ごんぎつね」の里・半田—

原 昌



南吉の生家

私がいくども訪れた文学風土に、愛知県の半田がある。新美南吉が生まれ、結核の病状が悪化し東京より帰郷、逝去したところである。享年29歳7か月、短い生涯であった。

死する先年の日記に、「小さな四角な紙の世界、なつかしい文学の世界、そこに遊んでいるとき、僅かに死のことを忘れえた」と、文学をいとおしんだ南吉、「やがて破滅が来ることをいつも予感し、そのために自分はいつも哀しく生きてきた」と、〈生〉をいとおしんだ南吉、やがて死の数か月前に、少年二人の心の断絶を描いた「疣(いは)」を完成させた。

かれのほとんどの作品が郷土・半田を舞台にしている。なかでも街はずれの岩滑地域は、「ごんぎつね」をはじめ、多くの作品の舞台となった。

一昨年の初、南吉作品の外国語翻訳を調べるため、中山にある「新美南吉記念館」へ立ち寄った。かつてと変わらぬ田園風景が開け、「ごん」と兵十と出会った矢勝川が流れ、くねった堤防には、何万本もの彼岸花が咲きみだれ、薄緑の地に赤く染まった長い帯のようであった。はるか北方には、背の低い権現山が望まれた。

南吉記念館の裏手には細い水路があり、その向こうが小高い丘で、モチノキ、クスノキ、ヤマザクラ、ハギなど、雑木のこんもり茂った森になっている。このあたりが「ごんぎつね」の舞台であった。

この岩滑地区には、「小さい太郎の悲しみ」が書かれた生家や、「ごんごろ鐘」に出てくる光蓮寺や、「疣」の八幡社や、南吉が通った常幅院などがある。南吉が小学2年生のとき、養子となり、新美を継いだ茅葺き家は、やや北端の地にある。

この日、私が最後に立ち寄ったのは、雁宿公園にある南吉の詩碑であった。1961年冬の日、私はカタツムリとランプを表徴した貝殻詩碑建立の除幕式に列席した思い出がある。碑は、公園の一隅にり、50年以上の歳月を経て、古い風格を帯びていた。

その碑には、

かなしいときは 貝殻ならそ
ふたつあわせて 息吹きこめて
静かに 鳴らそ 貝殻を

と刻まれている。この「貝殻」の詩は、南吉の純粋な魂をもっともよく表徴している。哀しいが、あたたかい唄でもある。

誰もその音を きかずとも、
風にかなしく 消ゆるとも
せめてひとりを あたためん
静かに 鳴らそ 貝殻を

南吉の孤独が、ひしひしと伝わってくる。やはり南吉は生きているのである。



「ごんぎつね」の森

(中京大学名誉教授)



新着図書のご案内



2008年6月～9月の受入図書の中から一部をご紹介します

書名	著者	出版社	出版日付	資料ID	所在	請求記号
ふるほん行脚	田中眞澄 [著]	みすず書房	2008.4	1102590	LSC 開架書庫	024.8/Ta 84
「日本は先進国」のウソ (平凡社新書：424)	杉田聡著	平凡社	2008.6	1102581	LSC 開架文庫新書書架	080/H 51/ 424
ぼくも算数が苦手だった (講談社現代新書：1946)	芳沢光雄著	講談社	2008.6	1103194	LSC 開架文庫新書書架	080/Ko 19/ 1946
戦争絶滅へ、人間復活へ： 九三歳・ジャーナリストの発言 (岩波新書：新赤版1140)	むのたけじ [話し手] / 黒岩比佐子聞き手	岩波書店	2008.7	1104547	LSC 開架文庫新書書架	080/I 95/ 4-1140
弱い自分を好きになる本	香山リカ著	朝日新聞出版	2008.6	1104364	LSC 開架書庫	146.8/Ka 98
3つの真実：人生を変える“愛と幸せと豊かさの秘密”	野口嘉則著	ビジネス社	2008.5	1102150	LSC 開架書庫	159/N 93
岩倉具視： 言葉の皮を剥きながら	永井路子著	文藝春秋	2008.3	1102924	LSC 開架書庫	289.1/N 14
日本の「岐路」： 自滅からの脱却は可能か	中西輝政著	文芸春秋	2008.5	1102909	LSC 開架書庫	304/N 38
官僚国家の崩壊	中川秀直著	講談社	2008.5	1104218	LSC 開架書庫	310.4/N 32
政権交代	榊原英資著	文藝春秋	2008.4	1102060	LSC 開架書庫	312.1/Sa 31
無から始めた男たち：20世紀日本の経済人「セレクション」	日本経済新聞社編	日本経済新聞社	2003.5	1102523	LSC 開架書庫	332.8/Mu 24
現代「女の一生」：人生儀礼から読み解く (NHK ブックス：1114)	関沢まゆみ著	日本放送出版協会	2008.6	1103319	LSC 開架書庫	384.6/Se 44
テレビ的教養：一億総博知化への系譜 (日本の「現代」：14)	佐藤卓己著	NTT 出版	2008.5	1102919	LSC 開架書庫	699.21/ Sa 85
やさしいため息	青山七恵著	河出書房新社	2008.5	1102913	LSC 開架書庫	913.6/A 58
恋する力	藤本ひとみ著	文藝春秋	2008.4	1102087	LSC 開架書庫	913.6/F 62
男性不信 (本人本：04)	池松江美著	太田出版	2008.3	1102085	LSC 開架書庫	913.6/I 33
夜の桃	石田衣良著	新潮社	2008.5	1103199	LSC 開架書庫	913.6/I 72
遊女のあと	諸田玲子著	新潮社	2008.4	1102065	LSC 開架書庫	913.6/Mo 77
カルトローレ	長野まゆみ著	新潮社	2008.4	1102083	LSC 開架書庫	913.6/N 16
あぼやん	新野剛志著	文芸春秋	2008.4	1102084	LSC 開架書庫	913.6/Sh 64
りすん	諏訪哲史著	講談社	2008.4	1102153	LSC 開架書庫	913.6/Su 87
役にたたない日々	佐野洋子著	朝日新聞出版	2008.5	1102151	LSC 開架書庫	914.6/Sa 66
テレワーク：「未来型労働」の現実 (岩波新書：新赤版 1133)	佐藤彰男著	岩波書店	2008.5	0933439	豊田開架文庫新書書架	080/I 95/ 4-1133

書名	著者	出版社	出版日付	資料 ID	所在	請求記号
トレーラーハウスから巨大企業の社長になった、幸運な私	デイビッド・ノバック、ジョン・ボズウェル著／宮田丈裕訳	インデックス・コミュニケーションズ	2008.4	0933608	豊田開架室	289.3/N 97
マイクロトレンド：世の中を動かす1%の人びと	マーク J. ベン、E. キニーザレス著／三浦展監修／吉田晋治訳	日本放送出版協会	2008.4	0933603	豊田開架室	304/P 38
「婚活」時代 (ディスカヴァー携書：021)	山田昌弘、白河桃子 [著]	ディスカヴァー・トゥエンティワン	2008.3	0934524	豊田開架室	367.4/Y 19
モノと男の戦後史	石谷二郎、天野正子著	吉川弘文館	2008.7	0935170	豊田開架室	369.5/I 81
大学生の自己分析：いまだ見えぬアイデンティティに突然気づくために	宮下一博、杉村和美著	ナカニシヤ出版	2008.4	0933556	豊田開架室	377.9/Mi 83
大学ノムコウ (自分と仕事を考えるヒント：1)	小樽商科大学キャリア教育開発チーム、キャリアバンク編	日本経済評論社	2008.4	0933580	豊田開架室	377.9/O 84
はじまりとしてのフィールドワーク：自分がひらく、世界がかわる	李仁子、金谷美和、佐藤知久編	昭和堂	2008.3	0933547	豊田開架室	389.04/I 11
幸運な宇宙	ポール・デイヴィス著／吉田三知世訳	日経 BP 社／日経 BP 出版センター (発売)	2008.2	0933707	豊田開架室	440.12/D 46
人類が消えた世界	アラン・ワイズマン著／鬼澤忍訳	早川書房	2008.5	0933607	豊田開架室	519/W 55
笑論：ニッポンお笑い進化論	須田泰成監修	バジリコ	2008.5	0933589	豊田開架室	779.14/Sh 96
雲と海の溶け合うところ	天野作市著	講談社	2008.4	0933604	豊田開架室	913.6/A 43
その時までサヨナラ	山田悠介著	文芸社	2008.4	0933591	豊田開架室	913.6/Y 19
時が滲む朝	楊逸著	文藝春秋	2008.7	0935094	豊田開架室	913.6/Y 51
もったいない話です	赤瀬川原平著	筑摩書房	2007.8	0935166	豊田開架室	914.6/A 32
やりとげる力	スティーヴン・プレスフィールド著／宇佐和通訳	筑摩書房	2008.4	0933611	豊田開架室	934.7/P 92
スポーツから気づく大切なこと。	中山和義	実業之日本社	2008	0935203	豊田開架室	準備中
親愛なるブリードさま：強制収容された日系二世とアメリカ人図書館司書の物語	ジョアンヌ・オッペンハイム、今村亮	柏書房	2008	0935125	豊田開架室	準備中
成熟し、人はますます若くなる	佐藤友美子、四手井綱英	NTT 出版	2008	0934961	豊田開架室	準備中
大学生のための成功する勉強法：タイムマネジメントから論文作成まで	ROB BARNES、畠山雄二	丸善	2008	0935111	豊田開架室	準備中



毎月約2,000冊の新しい本が入っています。
OPACでも検索してみてください。

希望する本がなく蔵書として入れてもらいたい場合は、
閲覧カウンター、または OPAC からお申し込み下さい。



続・「中京大学電子図書館」撮影の話

文学研究科 博士後期課程2年 鈴木 友子

撮影といっても、ここで指すのは貴重書の撮影である。学生や外部の人は、一般の図書と違い、貴重書は普段見ることはできない。丁寧に扱わなければならないからこそ、画像データにして気軽に見ることが出来るようにするのである。

ここで一つ、「中京大学電子図書館」で公開されている、『大職冠』という本を例に挙げてみよう。『大職冠』は、元々は「幸若舞」と言われる、室町時代に流行した舞の物語の一つで、こうした物語を本にした物を「舞の本」と呼んだ。中京大学にあるのは、奈良絵本という豪華な装丁がされている美しい本である。

物語前半の内容は、大職冠（藤原鎌足とも、藤原不比等とも。作品中では同一視されている。）の美しい娘が大唐の皇帝に嫁ぎ、唐の国に平和をもたらす。中盤ではその娘が興福寺の釈迦仏にと、宝珠を日本に届けようとするが、海に住む竜王があの手この手で宝珠を奪おうとする攻防戦が繰り返される。後半では大職冠が愛した海女が、自身を犠牲にして竜王に奪われた宝珠を取り返す。藤原氏の繁栄を描いた物語である。

貴重書を撮影する時には、まずフレームと本の大きさの具合を考える。そして、本の膨らみ（普通の本でも同じだが、開くとページを中心と端とでは、高低差ができる。）や、撮影時の光の具合などにも気を配らなければならない。『大職冠』は画像ではわからないかもしれないが、A4サイズ位あり、意外に大きい。また、ページいっばいに絵が描かれているので、しっかり開かねばならないし、まんべんなく光が当たるようにするのは、なかなか難しい。同じ条件で撮影するためには、中断するわけにはいかなので大変だ。同じ体勢で撮影し続けるため、腰が痛くなることもある。

前回紹介した『花鳥風月』のような絵巻の場合は、くるくると巻きながら撮影を行う。そのためフレームに入っている範囲に気を付けながらの作業となる。フレームに対して斜めにならないようにしながら、くるくるくるくる…と巻いていく。そして撮影が終わったら、しまうために全て巻き戻す。きつめにしても、緩めにしてもいけない。ちょうど良い力加減でまっすぐ巻く。そうしなければ、絵巻を傷めてしまうのだ。

他にも「中京大学電子図書館」とは関係ないが、虫食いだらけの古文書を撮影したこともある。古文書も保存状態によって様々である。紙が乾燥してくっついてしまったり、虫食い部分で紙が傷んでいたりと、中には水に濡れて乾いた時にパリパリとめくれ上がっていることもある。そんな時は触るのもためらわれるが、割り箸の先を削ったもので押さえたり、ピンセットでそっと剥がしたりして撮影する。古文書を押さえている時は鼻息がかかるのもいけないので、息が詰まる。

大変なことも多い撮影作業だが、撮影中は、普段余り見ることが出来ない貴重書をじっくり見ることが出来る。細かな所まで細い線で描かれているなあ、と感心したり、滑稽な顔つきを見つけて楽しんだりする。一体いくら位する本だろうと思うこともある。撮影は、色々な発見があって楽しい。



ベストリーダー (2008年4月～2008年8月)

春学期に多く貸し出された資料を紹介しします。(英語教材シリーズを除く)
今回の紹介は利用者別に掲載してみましたので、興味のある資料をチェックしてみてください。

【名古屋図書館・ライブラリーサービスセンター・法学文献センター】

	資料名	著者名
学生・院生	SD法によるイメージの測定：その理解と実施の手引	岩下豊彦著
	現代政治学 新版(有斐閣アルマ：Basic)	加茂利男 [ほか] 著
	人間の記憶：認知心理学入門	G.R. ロフタス/E.F. ロフタス著/大村彰道訳
	TOEIC test リーディングスピードマスター	成重寿著
	新・心理学の基礎知識(有斐閣ブックス：[681])	中島義明、繁榊算男、箱田裕司編
	ターリンは外国人 [1]	小栗左多里著
	恋空：切ナイ恋物語 上	美嘉著
	阪急電車	有川浩著
	性格の心理：ビッグファイブと臨床からみたパーソナリティ(コンパクト新心理学ライブラリ：5)	丹野義彦著
	アジア経営学：国際経営学/経営人類学の日本原形と進化	村山元英著
教職員	The history of British film	Rachel Low.
	Sources and documents of United States constitutions	edited and annotated by William F. Swindler. —
	A transcript of the registers of the Company of stationers of London 1554-1640	ed. by Edward Arber. —
	島崎藤村「夜明け前」作品論集成(近代文学作品論叢書：16)	剣持武彦編
	アジア諸国の司法改革(経済協力シリーズ：第198号)	小林昌之、今泉慎也編/今泉慎也
	長谷雄草紙./絵師草紙(日本の絵巻：11)	
	チーム・パチスタの栄光	海堂尊著
	シンプルな英語で日本を紹介する(CD book)(Beret books)	曾根田憲三、ブルース・パーキンス著
	不機嫌な職場：なぜ社員同士で協力できないのか(講談社現代新書：1926)	高橋克徳 [ほか] 著
	とける、とろける	唯川恵著
一般学外者	新・考えるヒント	池田晶子著
	六条御息所(人物で読む源氏物語：第7巻)	
	女性の品格：装いから生き方まで(PHP新書：418)	坂東眞理子著
	人間の関係	五木寛之著
	夫婦って何? 「おふたり様」の老後(講談社 + a 新書：373-1A)	三田誠広 [著]
	ブッダの語る覚醒への光の道：原始仏典「ダンマパダ」現代語全訳	トーマス・バイロンパーリ語英訳
	英語は仮定法だ	西田透著
	「古語拾遺」を読む	中村幸弘、遠藤和夫著/青木紀元監修
	無意識の発見：力動精神医学発達史	アンリ・エレンベルガー著/木村敏/中井久夫監訳
	平安後期歌学の研究(研究叢書：211)	西村加代子著

【豊田図書館】

	資料名	著者名
学生・院生	自閉症だったわたしへ	ドナ・ウィリアムズ [著] / 河野万里子訳
	TOEIC テスト新公式問題集	Educational Testing Service [著]
	平行線：ある自閉症者の青年期の回想	森口奈緒美著
	教員をめざす人の本 2008年度版	八尾坂修監修
	よく出るよく分かる基本情報技術者「午前」問題集	日高哲郎編
	クローバー	島本理生著
	まずはココから！科学論文の基礎知識	Vernon Booth [著] / 島山雄二、谷川正弘訳
	現職人事が書いた「自己PR・志望動機・提出書類」の本	大賀英徳著
	「例解」健康・スポーツ科学のための統計学 改訂版	出村慎一著
	人体解剖学 改訂第41版	藤田恒太郎著、—
教職員	フォローアップ問題集 初級読解 + 漢字編	
	ソウル：Seoul 改訂第8版 '08-'09	
	初級語学留学生のための日本語 1	岡本輝彦 [ほか] 著
	ベスト & プライテスト 新版	デイビッド・ハルバースタム著/浅野輔訳、—
	韓国 第7版(ブルーガイドわがまま歩き：5)	
	チリ・ハワイ・タヒチ(朝日旅の百科、海外編：29)	
	世界をゆるがした十日間(岩波文庫)	ジョン・リード著/原光雄訳
	滋賀県の山(分県登山ガイド：24)	片岡浜子 [ほか] 著
	グラウンデッド・セオリー・アプローチ：質的実証研究の再生	木下康仁著
	〈逆引き〉世界映画史! (Cine lesson：7)	濱口幸一、[フィルムアート社] 編集部編
一般学外者	これでなっとく使えるスポーツサイエンス 新版	征矢英昭、本山貢、石井好二郎編
	陸上(小学校体育写真でわかる運動と指導のポイント)	清水由著
	現代保健ノート：文部科学省検定教科書準拠：教師用 教師用	大修館書店編集部編
	新学習指導要領による高等学校体育の授業 下巻	杉山重利 [ほか] 編
	ボールゲーム(日書フォトブック、写真で見る「運動と指導」のポイント：4)	加藤優著
	「授業書」方式による保健の授業新版	保健教材研究会編
	The tale of Genji a novel in six parts	by Lady Murasaki
	Muscles alive their functions revealed by electromyography 5th ed	John V. Basmajian. —
	Surgery of the foot in memory of Henri L. DuVries and Verne T. Inman	
	デジタル人工知能学事典	人工知能学会編

図書館カレンダー (ライブラリーサービスセンター)

10

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

通常開館時間

	平日	土曜日
ライブラリーサービスセンター	9:00～22:00	9:00～22:00
名古屋図書館 (NL)	9:00～19:00	9:00～12:30
法学文献センター (LLC)	9:00～19:00	9:00～12:30
豊田図書館 (TL)	9:00～20:00	9:00～17:00

※ NL、LLC および TL の開館日は HP でご確認ください。

※都合により変更する場合があります。

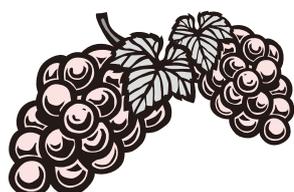
無印は通常開館

■ は休館日

● は開館 (10:00～17:00)

○ の開館時間 (平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:30)

■ の開館時間 (平日 9:00～16:00 土曜日 9:00～12:00)



発行 中京大学図書館

〒466-8666

名古屋市昭和区八事本町101-2

TEL (052)-835-7157

http://www.chukyo-u.ac.jp/tosho/

印刷 株式会社 荒川印刷